

KeMCo × デジタル × アナログ

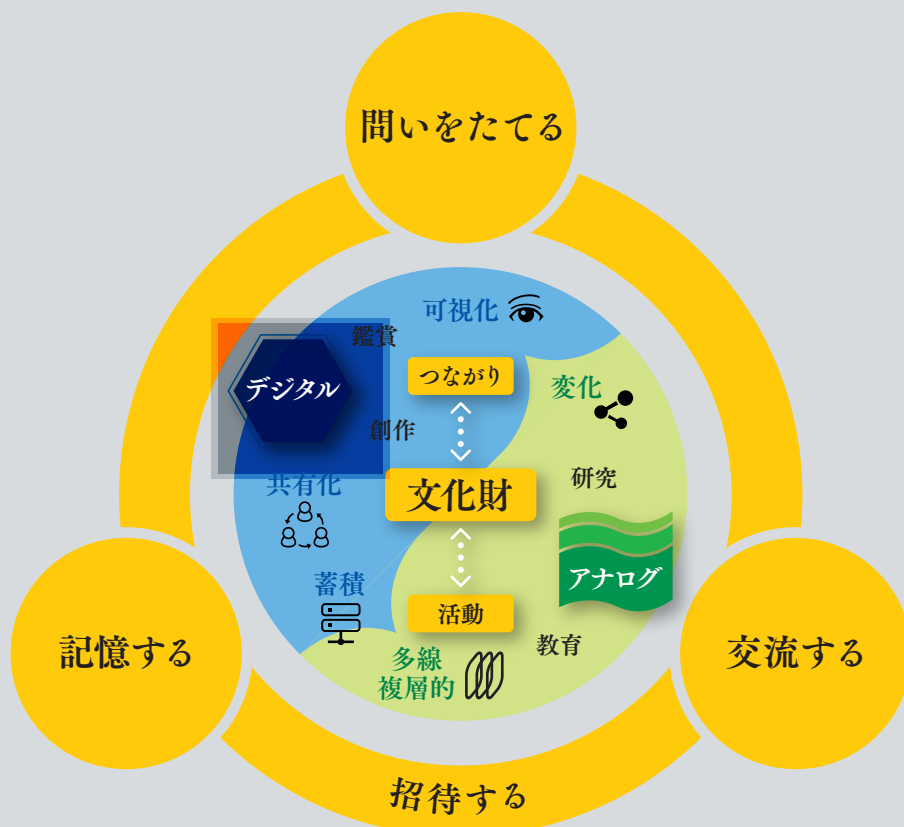
慶應義塾ミュージアム・コモンズ(KeMCo)は、大学に蓄積されたさまざまな文化財が会い、交流する場です。そして、大学にかかわる様々なコミュニティ——塾生、教職員、塾員(卒業生)、国内外の研究者、地域や社会のひとびとが、文化財を基点として交流する場でもあります。

文化財の多様性

文化財は、その成立にかかわる歴史を内包しています。さらに、その背後には、文化財と接することによってうまれる、ひとの活動(研究・教育・鑑賞・創作など)や、ひとのつながりが潜んでいます。文化財を構成する意味のレイヤーは複層的で、日々刻々と変化し、いつも新しい解釈や活動に対して開かれています。

デジタル × アナログ

KeMCoでは、この多様で変幻自在な文化財の——アナログの——世界に、デジタル技術を重ね合わせることで、文化財のもつ複層的な意味レイヤーを可視化し、共有可能にすることを目指しています。KeMCoのデジタル×アナログ融合プロジェクトは、招待する、記憶する(刻々と変化する文化財の意味レイヤーを蓄積する)、問いをたてる(記憶と対話し、新たな独自の問いをたてる)、交流する(文化財を起点として、ひとや大学や社会が繋がる)の4つの仕組みによって、ダイナミックな文化財の世界にひとびとを導きます。



KeMCoのデジタル×アナログ融合プロジェクトは、
ウェブサイトやモバイルアプリ、KeMCoでの展示だけではなく、
授業やイベントでの体験を通じて、
文化財情報への多彩なアクセスポイントを提供します。

ウェブサイト



KeMCo ウェブサイト

慶應義塾の文化財情報やキャンパスで展開する
文化財関連イベント情報などを閲覧することができます。

ミュージアム システム

文化財データベース



文化財情報を
蓄積

<...>

イベントデータベース



文化財が活用された
イベントを蓄積
(例: 展覧会)

<...>

教育活用データベース



文化財が教育に
活用された事例を蓄積
(例: ワークショップ)

キャンパス

教室

教育活用システム

教育の場での文化財活用をアシストする、
教材編集ツールの提供。



KeMCo
Keio
Museum
Commons

モバイル

モバイルアプリ

デジタルの優位性を活かした情報提供。文化財への
関心をきっかけに、人々とのつながりを生み出します。



館内

インスタレーション

館内の空間を最大限に活用し、AR・VRなどの
インタラクティブコンテンツを展開します。

